

川村学園女子大学 ディプロマ・ポリシー「卒業認定・学位授与の方針」

川村学園女子大学 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

川村学園女子大学では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

学部・学科における体系的学習を通じて専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 言語的理解と表現

人間・文化・社会・自然について、幅広く理解している。

基礎的な学習能力を身につけ、言語的な理解力とその表現能力を習得している。

2. 専門知識 方法の理解 分析と思考力

専門教育を通じて、専門知識を修得し、方法論に習熟している。

専門教育における高度実践的なスキル、創造的な思考力を身につけている。

3. 主体性 協働 社会規範

周りの人々との協働を通じて、自らの役割を理解し、求められる態度、責任感を有している。

豊かな感性を持ち、社会に奉仕する志を養っている。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

文学部 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

文学部では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

学科における体系的学習を通じて専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 言語的理解と表現

日本や世界の文化、歴史、言葉、心について、幅広く理解している。

基礎的な学習能力を身につけ、言語的な理解力とその表現能力を習得している。

2. 専門知識 方法の理解 分析と思考力

各学科の専門教育を通じて、専門知識を修得し、方法論に習熟している。

専門教育における高度実践的なスキル、創造的な思考力を身につけている。

3. 主体性 協働 社会規範

周りの人々との協働を通じて、自らの役割を理解し、求められる態度、責任感を有している。

豊かな感性を持ち、社会に奉仕する志を養っている。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

教育学部 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

教育学部では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

学科における体系的学習を通じて幼児あるいは児童の教育に関する専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを教育現場の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として教育現場において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 言語的理解と表現

幼児あるいは児童の特性について、幅広く理解している。

基礎的な学習能力を身につけ、言語的な理解力とその表現能力を習得している。

2. 専門知識 方法の理解 分析と思考力

各学科の専門教育を通じて、教育に関する専門知識を修得し、方法論に習熟している。

専門教育における高度実践的なスキル、創造的な思考力を身につけている。

3. 主体性 協働 社会規範

教育に関わる人々との協働を通じて、自らの役割を理解し、求められる態度、責任感を有している。

豊かな感性を持ち、社会に奉仕する志を養っている。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

生活創造学部 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

生活創造学部では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

学科における体系的学習を通じて専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを社会生活の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として社会的生活において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 言語的理解と表現

家庭や社会生活、あるいは日本や世界の生活文化について、幅広く理解している。

基礎的な学習能力を身につけ、言語的な理解力とその表現能力を習得している。

2. 専門知識 方法の理解 分析と思考力

各学科の専門教育を通じて、社会生活に関する専門知識を修得し、方法論に習熟している。

専門教育における高度実践的なスキル、創造的な思考力を身につけている。

3. 主体性 協働 社会規範

社会の様々な人々との協働を通じて、自らの役割を理解し、求められる態度、責任感を有している。

豊かな感性を持ち、社会に奉仕する志を養っている。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

国際英語学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

国際英語学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（文学）の学位を授与する。
全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

国際英語学科における体系的学習を通じ、グローバル社会における社会・言語・文化に関する専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 言語的理解と表現

実用レベルの英語運用能力（目安としてCEFR B1以上）を身につけており、第2外国語を一定レベルで修得している。

2. コミュニケーションスキル 協働

さまざまな状況下で、さまざまな社会的立場の相手に対して適切なコミュニケーション、ネゴシエーションができ、周りの人々との協働を通じて社会における自分の役割を果たすことができる。

3. 幅広い理解 専門知識 方法の理解 分析と思考力

世界の諸地域の社会・言語・文化について、研究対象とする分野において専門的な知識を、他の分野においても幅広い知識を身につけており、それらの分野の問題について独自の視点から分析を進める思考力をそなえている。

4. 主体性 協働 社会規範

グローバル時代の諸問題について自ら課題を設定し、情報を収集・整理し、自分の意見を構築して主体的な情報発信をすることができ、さらにその活動を通して社会における自分の立場・役割を理解できる。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

史学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

史学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（文学）の学位を授与する。

全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

史学科における体系的学習を通じ、歴史学についての専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 専門知識 方法の理解

史学科の専門教育を通じて、日本および世界の文化、なかんずくそれを育んできた歴史的経緯や地理的状况について、幅広く理解している。

歴史学地理学に関する専門知識を修得するとともに、それを生産する方法論に習熟している。

2. 分析と思考力 言語的理解と表現

専門教育における高度実践的なスキル、創造的な思考力を身につけている。

歴史研究の場に参画するために必要な言語的な理解力とその表現能力を習得している。

3. 主体性 協働 社会規範

自らの学びに関与するあらゆる人々との協働を通じて、自らの役割を理解し、求められる態度、責任感を有している。豊かな感性を持ち、社会に奉仕する志を養っている。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

心理学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

心理学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（心理学）の学位を授与する。
全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。
心理学科における体系的学習を通じて、心理学についての専門的知識を修得してその科学的方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。
「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 専門知識 方法の理解

心理学科における体系的学習を通じて、認知・社会・発達・臨床など、心理学の多領域にわたる専門的知識を修得していること。

心理学に必要な科学的方法論に習熟していること。

2. 分析と思考力 言語的理解と表現

心理学で扱う諸データに対して、適切な方法論を使用して検討する分析能力・思考能力を身につけていること。

心理学研究に必要な言語理解力とその表現力を習得していること。

3. 主体性 協同 社会規範

「自覚ある女性」として、主体性をもち、協働して、多様化複雑化する今日社会の諸課題解決に向け貢献する志を備えていること。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

日本文化学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

日本文化学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（文学）の学位を授与する。全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

日本文化学科における体系的学習を通じ、日本文化についての専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 言語的理解と表現

日本文化に関する全般的理解を土台として、日本古典文学、日本近代文学、日本語、日本美術、日本の伝統芸能・民俗、並びに書道、日本舞踊、茶道、華道、日本画、能の仕舞・謡い等々に関する理解を深め、それを表現する力を得ていること。

2. 専門知識 方法論の理解 分析と思考力

日本文学・日本語学系、日本美術・伝統芸能・民俗系の二つの専門領域の学びを通じて、専門知識、方法論に習熟し、創造的な思考力を持って、研究成果を卒業論文・卒業研究で提示し得ていること。

3. 主体性 協働 社会規範

日本文化に関する基本的な教養を基盤として、繊細でしなやかな感性を身につけた自覚ある女性として、広く社会に奉仕、貢献していく志を持っていること。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を取得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

幼児教育学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

幼児教育学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（教育学）の学位を授与する。

全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

学科における体系的学習を通じて乳幼児の教育に関する専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを保育・教育現場の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として保育・教育現場において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 保育者としての素養

教養を養うとともに、幼児教育・保育について広範かつ専門的に学習し、「すべてのくひと・もの・こと」に感謝できる保育者」「子どもとともに生きることができる自覚ある保育者」としての素養を身につけていること。

2. 専門知識（乳幼児の理解） 方法の理解（指導力） 分析と思考力

子どもの内面を理解しようとする意識・姿勢を持つとともに、発達や障害に関する知識を備え、幼児教育・保育において柔軟で適切な援助や指導に取り組めること。

3. 実践的な技能（言語的理解と表現を含む）

幼児教育・保育を行う上で必要な表現技術（音楽・造形・運動・児童文化）を備え、実践する力を修得していること。

4. 強い使命感 責任感 主体性 協働 社会規範

「自覚ある女性」として自らの持つ個性や能力を活かし協働を通じて社会に貢献しようとする姿勢を持っていること。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

児童教育学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

児童教育学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（教育学）の学位を授与する。
全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

学科における体系的学習を通じて児童の教育に関する専門的知識を修得してその方法論に習熟し、それらを教育現場の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として教育現場において求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 言語的理解と表現

教職の専門性と小学校の特性、小学校教員の担う役割と責任を理解している。

児童の発達段階を理解し、児童の成長に寄り添う教育課程の実現に向けた意欲と能力を有している。

2. 専門知識 方法の理解 分析と思考力

児童教育に関する専門知識を修得し、方法論に習熟している。

教職インターンシップやボランティア活動と授業での学びを通じて、理論と実践の往還に取り組むことができる。

不登校や特別支援など多様なニーズを理解し、多面的・多角的に教育課題を検討し、それらに対応する能力を有している。

3. 主体性 協働 社会規範

教育に関わる人々との協働を通じて、自らの役割を理解し、求められる態度、責任感を有している。

教員間や保護者・地域と連携して、学校運営や学級運営を実践する能力を有している。

自ら学び続けることの意味を理解し、今後も研修やボランティア活動などに積極的に参加する意欲を持っている。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

生活文化学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

生活文化学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（社会学）の学位を授与する。

全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

「社会と生活」「生活と家庭」「栄養と健康」3領域の体系的学習を通じて、栄養士・栄養教諭・家庭科教諭として必要な栄養・健康科学、社会学及び家政学など関連領域の専門知識を修得してその方法論に習熟し、それらを企業、教育機関、病院、自治体などでの多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として地域、企業、教育機関、病院、自治体などにおいて求められる態度・責任感を持ち、豊かな感性をもって社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 幅広い理解 言語的理解と表現

家庭や社会生活、日本や世界の生活文化について、幅広く理解している。

基礎的な学習能力を身につけ、言語的な理解力とその表現能力を習得している。

2. 専門知識 方法の理解 分析と思考力

栄養・健康科学、社会学及び家政学など関連領域の専門教育を通じて、栄養士・栄養教諭・家庭科教諭などの専門的知識を修得してその方法論に習熟している。

「社会と生活」領域で変容する社会を理解し社会との調和を図りながら自分らしいライフデザインを構築している。「生活と家庭」領域で「食」を中心に衣・食・住・家庭分野での生活の質や生活マネジメントを探究している。「栄養と健康」領域で「食」に関する専門的な技能・能力を有している。これら3領域を体系的に学ぶことで創造的な思考力を身につけている。

3. 主体性 協働 社会規範

商品開発などフードビジネスや地域連携・地産地消など社会の様々な人々との協働を通じて、栄養士・栄養教諭・家庭科教諭・フードビジネスの場等での自らの役割を理解し、求められる態度、責任感を有している。また、豊かな感性を持ち、社会に奉仕する志を養っている。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

観光文化学科 ディプロマ・ポリシー

【授与方針】

観光文化学科では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学士（社会学）の学位を授与する。
全学共通カリキュラムの履修を通して、基礎的な学習能力を養うとともに、人間・文化・社会・自然に対する理解を深めていること。

「観光基礎」「観光文化」「ホスピタリティ」「観光外国語」「観光文化実践」の5領域における体系的学習を通じて、それぞれの専門的知識を修得しその方法論に習熟し、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

「自覚ある女性」として社会において求められる態度・責任感をもち、豊かな感性を持って社会に奉仕する志を養っていること。

学生が身につけるべき資質・能力

1. 言語的理解と表現

基礎的な学習能力を身につけ、言語的な理解力とその表現能力を習得している。

2. 幅広い理解

現代社会のさまざまな問題に対応できる幅広い知識を身につけ、方法論を習熟している。

3. 専門知識

日本や海外の諸問題に関する専門知識を身につけている。

4. 方法の理解 分析と思考力

多様な課題を解決しうる思考力・判断力を身につけている。

5. 異文化理解とコミュニケーションスキル

異文化の理解に努め、それらを表現するコミュニケーションスキルを身につけている。

6. 主体性 協働

実践的な活動やフィールドワークの経験を通して、他者との協働し協調した行動ができる。

7. 社会規範

さまざまな人びととの協働を通して、社会の規範やルールに従って行動ができる。

【学位授与の基準】

・ 共通科目

大学の共通科目の指定された単位を修得し、基礎的な学習能力と幅広い知識を身につけていること。

・ 専門科目

学科が指定する専門科目の単位を修得し、専門的知識と創造的思考力を身につけていること。

・ 実習科目等

学科が指定する実習科目等の単位を修得し、実践的スキルと社会において求められる態度を身につけていること。

ディプロマ・ポリシー

人文科学研究科 心理学専攻

【学位授与方針】

人文科学研究科心理学専攻では、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

人文科学研究科心理学専攻における体系的学習を通じて、心理学についての高度でかつ広範な専門的知識・技能を修得して、それらを現代社会の多様な問題の解決に応用し得る実践的スキルと論理的思考力・創造的思考力を身につけていること。

専門職・研究者として社会において求められる態度・責任感・倫理観を持ち、豊かな感性を持って、主体的かつ協同的に社会に奉仕する志を養っていること。

【学生が身に付けるべき資質・能力】

1. 専門的知識 分析・表現・応用力

心理学全般に関する高度な知識や方法論、実践論等に精通し、専門領域において求められる分析力、表現力、応用力を十分に修得していること。

2. 専門職・研究者としての態度（主体性 協同 社会規範）

時代に求められる、自覚ある専門職・研究者として、その責務を十分に理解し、適切な倫理観と豊かな感性とともに、常に科学的視座をもち、主体的かつ協同して社会諸課題解決に向け貢献する志を修得していること。

3. 心理臨床専門職としての能力修得

心理臨床の場における多様な状況において、充分に対応できる実践力や、治療的理論、技法等に習熟し、かつ、人間に対する、深い洞察力、共感性を修得していること（臨床心理学領域）。

4. 心理行動科学研究実践のための能力修得

専門的領域における最新の知識、研究等に精通し、更に、自らそれを分析、深化する能力を有し、各研究領域において、応用、探究できる能力を修得していること（心理行動科学領域）。

【学位授与の要件】

心理学専攻の教育目標を理解し、必修科目を含む設置された講義・演習・実習科目から30単位を履修し、専門的知識、実践的スキル、専門職・研究者としての態度・能力を修得していること。

【学位授与方針】

教育学専攻では、以下のような能力を身に付け、かつ所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

学校教育、とりわけ小学校教育に関する現状の理解、教育課程等の改善の方向や内容等、さらには学校と地域社会との連携、インクルーシブ教育システムの構築の推進の考え方や方向性を的確に理解し、その課題の解決やよりよい取組の在り方等について一定の知見と実践力を身に付けていること。

【学生が身に付けるべき資質・能力】

1. 小学校教員としての教職専門性を持ち、教育改革の動向等を的確に踏まえつつ、教科指導、学級経営をリードできる、高度な教育実践力を身に付けていること。
2. 学校、家庭、地域社会の連携によって、関連諸科学の成果を活用しつつ、児童一人一人の個性・能力の伸張を目指し、情熱を持って指導できる教育実践力を身に付けていること。

【学位授与の基準】

- ・ 小学校教師としての使命と責任を持ち、高度な教職専門性と教育実践力をしなえるという教育学専攻の教育目的を実現していること。
- ・ 教育課程を構成する科目群の中から自己の課題等に応じて選択履修した科目について所定の単位数を習得し、その後の研究や教育実践を推進できる資質・能力を身に付けていること。

人文科学研究科 比較文化専攻

<比較文化専攻 博士前期課程>

【授与方針】

比較文化専攻博士前期課程では、研究者としての自覚を涵養し、専門分野における高度な知識を生かして社会に貢献できる人材を育成するため、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し、修士論文を完成した学生に修士（文学）の学位を授与する。

【学生が身に付けるべき資質・能力】

1. 人文社会諸科学に関する学識を有し、研究分野における高度な専門知識及び方法論に習熟している。
2. 研究分野における課題探求力、分析力、考察力があり、自分の考えを論理的に展開でき、研究成果を発表し、ディスカッションができるコミュニケーション力がある。
3. 主体性を持ち、研究に携わる他の人々と協力して問題の解決に取り組むことができる。

【学位授与の基準】

- ・人文社会諸科学の研究分野における高度な専門知識を身に付け、それを問題解決のために運用することができる力を有していること。
- ・社会における貢献を目指し、他者と交流して問題解決に取り組む姿勢を有していること。

<比較文化専攻 博士後期課程>

【授与方針】

比較文化専攻博士後期課程では、研究者としての自覚とふさわしい人格を有し、研究分野における学際的視野と知識を以て真摯に問題に取り組む人材を育成するため、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得し、博士論文を完成した学生に博士（文学）の学位を授与する。

【学生が身に付けるべき資質・能力】

1. 人文社会諸科学に関する学際的な知識、研究分野における高度な学術的知見を有し、独自性のある視点から研究ができる。
2. 研究分野における問題提起力、分析・考察力、論理的展開力があり、研究成果を発表し、ディスカッションができるコミュニケーション力がある。
3. 主体的に研究に取り組み、他の研究者の意見を真摯に聞き、協力して問題解決に取り組むことができる。

【学位の授与の基準】

- ・人文社会諸科学の研究者としての自覚を持ち、専門分野の高度な知見を社会に生かそうとしていること。
- ・独自性のある研究業績を公表していること。
- ・社会における貢献を目指し、他の研究者と交流できること。